

東部地区図書館の早期整備に関する市民アピール

私たちは、今日、東部地区に基幹となる10万冊規模の図書館が早期に建設整備される事を願いここに集まりました。

今回の学習会を通じて、公共図書館が、子どもたちから高齢の方、働き盛りの人々など幅広い、多くの地域住民に利用されること、そして、様々な本と出会い、楽しみや生きがいを発見し、生活や仕事に役立ち、地域の交流の場となるものであることを再確認しました。

図書館は将来にわたって活発に利用される生涯学習施設であるだけでなく、豊かな地域や街づくりを考えるときにも、地域の中核施設としてその整備が不可欠のものであると確信できました。

「すべての地域に図書館サービスが行き届くこと」を基本方針に岡山市が策定した図書館整備基本計画と図書館整備実施計画にそって高屋に図書館用地を先行取得して既に14年になります。今こそ私たちの地域に一刻も早い図書館整備が必要です。

岡山市には、私たちの願いに耳を傾け、早期の基幹地区図書館の整備を積極的に推進することを要望します。

そして、私たちは、岡山市民として、地域のため、住民みんなのため、そして、将来の子どもたちのために、図書館のある街の実現に力をつくそうではありませんか。

私たちは、図書館を望む多くの市民の声を集め、力を合わせて図書館整備を図っていくことここに表明し、多くの方の賛同と参加を呼びかけます。

2011年7月10日

『みんなで考えよう岡山市の図書館』参加者有志